

# クロム活用シート

## 5年 国語科

1. 単元名『固有種が教えてくれること』
2. 本時の評価規準

文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。【知識及び技能】

### 3. 指導計画

	学習活動	ICT 活用場面
導入	1. 固有種についての確認をする。 ・固有種の意味や日本の固有種をスライドで確認する。	<b>A I</b> スライドで固有種がどんなものだったかを確認する。
展開	2. 感想を交流し、段落の確認をする。 ・事前に行った初発の感想を読み合い、スタンプを送り、交流する。 ・説明文の特徴を確認する。 ・段落の数を確認する。 ・「はじめ」「中」「終わり」に段落を分ける。 個人→グループ→全体 ・根拠をもって段落の分け方を説明する。	<b>C 2</b> オクリンクプラスで段落を動かし、根拠をもって「はじめ」「中」「終わり」に分ける。個人で考えて分けた時と相談して分けた時とで提出BOXを変えておく。 <b>B I</b>
終末	3. 「はじめ」「終わり」の内容を確認し、次時につなげる。 ・筆者の考えを見つけ、中に書かれている内容を次時で読み取ることを共有する。	初発の感想を交流し、スタンプを押す。

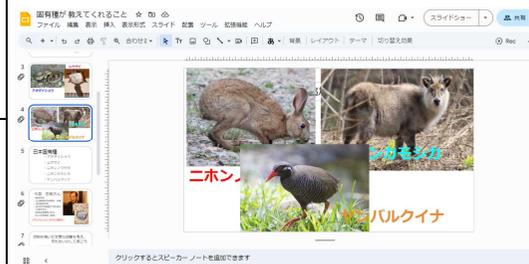
### 4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

Ⅲ	学びに向かう力、人間性等	1	問題解決・探究における情報活用の態度
		①	多角的に情報を検討しようとする態度
		b	情報を複数の視点から捉えようとする

	活用の流れ
①	スライドで固有種についての確認をする。
②	オクリンクプラスで初発の感想を交流し、スタンプを送り合う。
③	オクリンクプラスで段落を分ける。 (個人→グループ→全体)

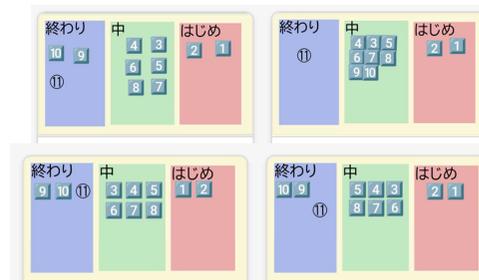
### A I 教師による教材の提示

使用するアプリ等 「Google スライド」



### C 2 協働での意見整理

使用するアプリ等



### B I 一人一人の習熟に応じた学習

「オクリンクプラス」



### 活用の効果

- ・たくさんの感想を見ることで、自分では気付かなかった視点に巡り合い、考えの視野が広がった。
- ・オクリンクプラスでは、提出BOXを変えることで、個人思考と協働思考の場面が明確に分かり、思考の流れが分かりやすかった。
- ・友達との交流では、オクリンクプラスで段落の移動を簡単にし、根拠をもとに段落分けをする中で、接続の言葉や文章の種類を区別して説明ができていた。